

2026年1月19日  
株式会社ヤマウラ

## ニュースリリース

### 自社所有のアスファルトプラントを新設し、稼働開始 ～ 生産性向上・コスト削減により収益力を強化 ～

総合建設業・製造業の株式会社ヤマウラ（本社：長野県駒ヶ根市、代表取締役社長：山浦正貴）はこのたび、道路舗装工事における安定供給体制の強化、生産性向上、環境負荷低減を図るため、自社所有のアスファルトプラント（以下「新プラント」）を新設し、稼働を開始しましたのでお知らせいたします。



新アスファルトプラント

新プラントは、1982年に設置した既設プラントの老朽化に伴う更新です。プラント能力の増強とリサイクル能力の向上、燃料消費量およびCO<sub>2</sub>排出量の削減、臭気・騒音・粉じん低減など周辺環境への配慮、ランニングコスト（原価・メンテナンス費用・人件費・電力費など）の削減を通じて、舗装関連事業の競争力強化と持続可能な事業運営を図ることを目的としています。

新プラントを活用することで、アスファルトコンクリート再生骨材<sup>(※1)</sup>の配合率を最大60%程度まで引き上げるなど、再生材利用率を高めることで高品質な環境配慮型アスファルト合材を安定供給し、地域インフラの長寿命化およびカーボンニュートラル社会の実現に貢献するとともに、企業価値の向上に努めてまいります。

なお、新プラントの本格稼働は、当社舗装関連事業における生産性向上とコスト削減の両面が見込まれ、中長期的に収益力の強化につながるものと考えておりますが、現時点では当期連結業績に与える影響は軽微であると認識しております。業績予想に重要な影響を与える見込みが生じた場合には、速やかに開示いたします。

※1=アスファルトコンクリート発生材を破碎または解碎し、分級した骨材（舗装発生材中のアスファルトを含む）。

(参考) 新プラントの主な仕様・特徴（日工株式会社製）

項目	旧プラント	新プラント
V能力(※2)	60t/h	78t/h
R能力(※3)	リサイクルキット(非加熱式)	45t/h(加熱式)
ミキサー容量	1,000 kg	1,600 kg
ミキサー出荷能力	60t/h	96t/h(※4)
ホットビン容量(湛水容量)	9m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup>
サージビン	なし	30t
合材サイロ	なし	100t
使用燃料	A重油	LPガス

上記能力等は、日工株式会社の提出資料に基づくものです。

※2=新規骨材の乾燥加熱能力

※3=アスファルトコンクリート再生骨材の乾燥加熱能力

※4=再生加熱アスファルト混合物を製造する際の能力。新規アスファルト混合物製造能力は骨材相当で78 t / h。

(参考) スケジュール等

設置場所	長野県上伊那郡宮田村 5350-1 (旧プラントに隣接)
着工	2024年7月
竣工	2025年12月
試運転開始	2026年1月
本格稼働開始	2026年2~3月

**【株式会社ヤマウラについて】**

創業 1920(大正9)年

資本金 28億8,849万円

代表者 代表取締役社長 山浦正貴

上場市場 東京証券取引所プライム市場/名古屋証券取引所プレミア市場

事業内容 総合建設業・製造業として、建設事業(建築・土木)・エンジニアリング事業・開発事業を展開

URL <https://www.yamaura.co.jp>

**【本リリースに関するお問い合わせ】**

株式会社ヤマウラ 経営戦略室 IR・広報担当：宮下

E-mail：[ir@yamaura.co.jp](mailto:ir@yamaura.co.jp)